

冬の展望台「富士見SP」

平成から新時代へと変わる2019年は節目の一年です！冬の晴れ間を逃さずに、山の展望を楽しむだけでなく、自分と向き合い、今年はどうなるのか、なにを望むのか・・・この時季の山歩きには、なんだか深みを感じます。今回の「あきる野の展望台」シリーズは、富士見スポットのスペシャルです。



①馬頭刈尾根富士見台付近より(大岳山～馬頭刈山のハイキングコース)



②峰見通り東部より(刈寄山～市道山のハイキングコース)



③市役所5階西側より



あきる野市

※ 全ての写真は望遠レンズで撮影した物です。

飛来中..



カモ群団



冬こそ、河原だ！

まだまだ、あきる野に潜んでいる「宝物」に気付いていない人が多いようですが、それは間違いなく大自然です。

あきる野の環境と四季は多様で、喜ばしい自然の恵みがない時期が存在しません。「冬は寒いし、寂しい時期だ」と思ったら、大間違いです。どんなに寒くても、休まない生き物はたくさんいます。自然の生き物のたくましさを目の当たりにすると、我々は様々なことを考え直すことがあります。

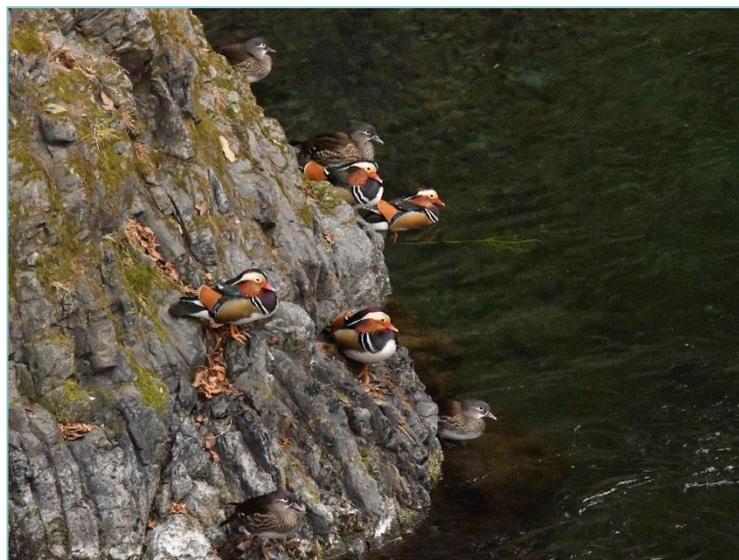
私も、冬の間にあきる野で越冬するカモたちの調査カウントを始めて4年が経過しましたが、あきる野の水辺環境について、「カモ先生」にいろいろ教えられています。彼らは直ぐそこにいます！

(左上) 秋川の堰堤で水草などを食べるカルガモ。冬でも、多摩川や秋川は餌が豊富ですね！



(上) エレガントな飛翔を見せてくれるオナガガモの群れ。1月、秋川下流部。

(左) 冬の穏やかな秋川で休んだり、泳いだりするオシドリ達は美しく、見ていると癒されます。2月、秋川上流部。



久しぶりに「パンダガモ」！

このようにも呼ばれている「ミコアイサ」の雄を今年の冬に秋川で1羽だけ確認しました。数年前に目撃情報はありましたが、レンジャーの調査では約7年ぶりの確認です。例年は、雄の色や模様とは異なる雌や幼鳥だけが少数で飛来しますが、雄の個体がこのエリアに飛来するのは珍しいことです。

冬の秋川や多摩川を散歩するだけで、こんな素敵な出会いもありますね！



※ ミコアイサの雄のチャームポイントは、頭の後ろのハートマークです。冠羽が短いほど、黒い模様がハート型に目立ちます。見かけたらチェックしましょう！

